

# 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【岩槻小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎基本の定着における個人差が大きい。 <指導上の課題> 学習展開の中で習得した知識・技能を活用する時間の確保。	⇒ ①基礎基本の時間を朝のモジュールとして実施。【週1回】②指導計画を工夫し、学習した知識・技能を活用する場面の時間を確保する。【単元ごと】③活用場面で協力的な学びを効果的に位置づけ、知識・技能の確かな定着を図る。【単元テスト】④スクールダッシュボード等を活用することで、個に応じた指導の充実を図る。【適宜】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 筋道を立てて説明する力が十分ではない。 <指導上の課題> 根拠を基に考えたり説明したりする時間の確保。	⇒ ①自力解決、協働、練り上げの時間それぞれに個別最適な学びと協力的な学びの連動による「学び」を取り入れ、自分の考えをきちんと表現できるようにする。【単元ごと】②協力的な学びを効果的に位置づけ、他者の考えに触れ、自分の考えと比較することを通して、確かな学力の定着を図る。【毎時間】③学校課題研修と連動させた授業改善をすることで、主体的な学びを引き出す。【毎時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)